

オンライン 二重構造と一般化を理解し、面接試験合格に活用する講座

1 級試験の最重要ポイント 事例指導とスーパービジョンの違いを理解し、実践できるようになります。				受講料：会員価格	受講料：一般価格
日程	2022 年 9 月 11 日(日)	14 : 00~16 : 00 120 分	事前に URL と教材をお送りします。	13,000 円 税込	16,000 円 税込
目的	<p>指定試験機関から発表された「受検者の傾向」の読み方と、それを前提とした合格対策方法論をお伝えします。</p> <p>1 級面接試験は、まず経験 2 年目の事例相談者の話を聴いて事例相談者視点の問題を把握した後、事例指導者として事例相談者が気づいていない面談技法上の問題を把握し、本質的解決をみざすところから始まります。</p> <p>評価区分の「問題把握力」の内容や厚生労働省の研究会報告書を紐解くと、1 級指導者には、スーパーバイザーとしての能力が求められています。</p> <p>ところが、受検者は、事例相談者が相談を受けた「もう二度とこない」「次回の面談をキャンセルしてきた」相談者 A さんの支援をしようとしていたり、事例相談者の A さんとのやり取りをどうすべきだったのかに終始し、合格に至らないケースが数多く見受けられます。</p> <p>講座では、1 級試験が「二重構造」になっていることを理解するとともに、評価区分「問題の本質的把握」の意味を理解して事例相談者の面談技法上の問題を、事例相談者の面談の特徴を把握して明確にする方法をお伝えします。</p>				
カリキュラム	<p>①相談者と事例相談者と事例指導者の関係を明確に理解したうえで、事例指導者（受検者）が実施することを明確にします。</p> <p>②事例相談者は 30 分のロープレにおいて、どういう役目を担っているか、受検者はどこを確認すべきかを客観的に把握します。</p> <p>③試験官は事例指導者のどんなスキルを評価しているかを理解します。</p> <p>④問題を一般化して、把握したことを試験官にどのようにアピールするかを理解し、実践できるようになります。</p>				
	<p>事例相談者は、経験不足や勉強不足でキャリアコンサルタントとしての面談の進め方に問題を抱えているという設定です。</p> <p>事例相談者は、「助言の仕方が悪かったので助言方法を教えて欲しい」「相談者は腑に落ちない様子だったのでどうしたらよいか」と、悩んでいます。</p> <p>受検者は助言方法や相談者の腑に落ちない様子ばかりに注力し、本来の指導者がやるべきことができなくては、合格に至りません。</p> <p>本講座は多くの受検者が陥る二重構造や一般化の理解不足、事例検討・ケース指導などを 1 つずつ明確にし、理解を深めます。</p>				

当会でよくある質問を講座で解決します。答えが分かると、学習の方向性が見えてきます。

事例相談者と相談者は違うのですか？

事例相談者視点とは CC 視点と違うのですか？